

# 第4次

## 作木町まちづくりリビジョン



**「作木で高齢者と  
いわれるのは75歳から」  
宣言**

元気な暮らしへの  
宣言

地域の現役世代として活躍されている作木町の皆さんが、これからも生き生きと前向きな気持ちで活躍していただきたいという願いを込めて、令和元年10月に宣言をおこないました。

### 取組の柱

### 取組内容

### 取組のポイント

#### 2. 安全・安心な暮らしづくり

##### ② 生活しやすいまちをめざした取り組み

- (1) 市民バスなど公共交通の利用を促進し、運行継続のための活動を行う

デマンド型市民バスの使い方や公共交通の利便性をPRし、運行継続に向けた活動に取り組む。

市民バスのお試し乗車
- (2) 買い物情報の提供など支援策を検討し、買い物支援に取り組む

移動販売や生協、JAの宅配などの買い物情報を提供するなど住民ニーズに応じた支援策に取り組む。

ネットショッピング利活用研修／食材の宅配サービス業者などとの連携
- (3) 住民一人ひとりが健康で元気に暮らしづくり

医療・福祉・保健の各機関が連携して行う健康づくりの取り組みに積極的に協力し、生涯にわたり心豊かに健康で過ごせる環境づくりに取り組む。

医療・福祉・保健が連携した取り組みによる健康づくり

#### 3. 将来にむけたまちづくり

##### ① 観光と文化の振興

- (1) 観光推進団体と連携し、町内の自然・名所をPRし、集客に向けた協力を行う

観光推進と関係人口増の取り組みに協力する。また、地域の環境整備や美化活動の支援など観光資源となる農村景観保全に取り組む。

遊休農地の活用／特産品開発の支援／SNSなど活用した情報発信／作木のファンづくり／各種団体との連携
- (2) 伝統文化の継承に向けて、活動団体を支援する

神楽などの伝統文化の継承団体が、活発に活動できるように支援する。

伝統文化や芸能の継承／文化活動の充実・支援／学校の地域学習での継承活動

##### ② 人材の育成をめざした取り組み

- 将来に向けて、まちづくりを担う人材を育成するための研修や交流を進める。

人材育成／共同作業や交流行事による担い手づくり



ホームページ



Facebook



Instagram

# 第4次 作木町まちづくりビジョン

## 基本理念

人と地域のつながりを大切にしてお互いが支えあい、まちづくりの課題を自らの事として捉え、いつまでも住み続けたいまち作木に取り組む

計画期間

令和8(2026)年4月1日～  
令和13(2031)年3月31日



めざすべきまちの姿

## 住みよい町! さくぎ



### 取組の柱

### 取組内容

### 取組のポイント

### 取組の柱

### 取組内容

### 取組のポイント

#### ① 活発な住民活動

- (1) 自治区活動の充実と住民同士のつながりづくりを深める



人口減少により自治区の活動で困っていること(役員体制、環境整備など)の解決に向けて一緒に検討し、住民同士のつながりを保つための活動を支援する。自治連の各活動の推進にあたっては、町内から参加を呼びかけてチームを編成し、町民との情報共有を図りながら進める。

住民自治活動の支援・充実/集落機能や役割分担、行事の見直し/自助・共助によるつながりづくり/行政との協働



- (2) 作木町の活力づくりにつながる行事に取り組む



全町行事を開催し、子どもから大人まで楽しく交流し、活力づくりにつなげる。そのために負担が少なく開催できる工夫を行うとともに、積極的に行事を応援してくれる人材を増やす。

住民の交流/伝統文化や芸能をテーマとしたイベント開催(神楽大会)/ふるさとまつり/学校との共催/外部応援や負担軽減など運営の工夫

- (1) 子育て世代の定住支援とつながりづくり



町内の子育て世代とのつながりを持ち、作木に住み続けるための相談や支援、情報発信を行う。

子どもが帰ってきたいと思う町づくり/子育て世代との交流/子育て・教育環境の改善/学校再配置に関する協議/生活に密着した情報の発信



- (2) 体験活動を子どもたちと大人が一緒に行い、ふるさと愛を育てる

子どもたちが作木ならではの体験をすることで、思い出をたくさん作って成長し、将来、作木に帰ってきたいと思うきっかけづくりにつなげる。

子どもが地域を知る機会を増やす/子どもたちと共に行う歴史・文化体験学習、交流/コミュニティ・スクールの充実

- (3) Uターン者、移住者と住民との交流を行い、つながりを深める



移住者などが定着するために、地域住民との関係づくりを進める。

交流人口の拡大/ふるさとサポーター活動の検討

- (4) 空き家の片づけや相続の方法などを研修し、空き家の整理を進める



集落支援員や行政と連携をして、空き家対策を進める。

空き家整理の勉強会/空き家の有効活用方法の検討/空き家バンク登録の促進や登録物件の紹介/相続登記の研修

#### 1. 住民が生活を楽しく暮らしていける

#### ③ 楽しく役立つ住民の学び

- (1) 日常生活に役立ち、楽しく学べる講座を企画実施する



住民が講座に参加し、集うことにより、日常生活に役立つ楽しい学びにつなげる。お年寄りの得意分野を生かした講座を開催し、地域に根差した学びに取り組む。

人生に役立つ生涯学習(講座・セミナー)の開催/生活や仕事に役立つ講座や研修会の開催



- (2) 交流や趣味のグループ活動を支援する

町内の文化・スポーツなどの、趣味のグループの活動の幅が広がるよう支援する。

趣味や健康、交流などを目的としたサロンやサークル活動の支援



#### 2. 安全・安心な暮らしを実現する

#### ① 災害から命を守る

- (1) 住民に災害情報を迅速に伝達するしくみを検討する



音声告知放送の受信機を設置していない家庭など災害情報の受け方はさまざま、どのようなしくみが望ましいのかなど、あらためて検討する。

情報伝達、安否確認方法など実態に即した避難計画づくり/避難等要支援者名簿の作成



- (2) 防災計画に基づいた訓練や研修を実施する



防災計画に基づいて防災訓練を実施し、その振り返りを行う。防災計画は住民に周知し、災害時に命が守れるよう改善していく。

避難訓練や防災研修の実施/危険個所の点検などによる防災計画の見直し/災害備品などの充実

- (3) 防犯への関心を高め、犯罪から身を守るための啓発活動を行う



近年増加している特殊詐欺や不審者による被害にあわないために、住民へ情報の提供や声掛けを行う。

防犯対策講座/防犯への広報・啓発/防犯見守り活動

#### 1. 住民が生活を楽しく暮らしていける

#### ② 魅力を感じる作木暮らし